

## インフォシス、ガートナー社®の 2021 年「世界の通信サービスプロバイダ向け IT サービスのマジック・クアドラント」でリーダーに認定

バンガロール（インド） – 2021 年 12 月 9 日：次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は、ガートナー社の 2021 年「世界の通信サービスプロバイダ向け IT サービスのマジック・クアドラント」でリーダーに選ばれました。インフォシスはこの分野における実行力とビジョンの完全性で高く評価されました。

インフォシスは豊富な専門知識と経験に加え、Infosys Innovation Network (IIN) や [Living Labs](#)、統合プラットフォーム/ソリューション/製品、グローバルな提携やパートナーのエコシステムを駆使して、通信サービスプロバイダのデジタル変革ジャーニーを支援しています。また、通信サービスプロバイダが現在の未曾有の時期にも顧客に必要とされる存在であり続け、回復力を維持できるよう、主要ソリューションである [Applied AI](#) や [Infosys Cobalt](#) といった企業のクラウドジャーニーを加速する一連のサービス、ソリューション、プラットフォームを用いて支援しています。

インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデントで、通信、メディア、テクノロジー部門のグローバル・インダストリー部長である **Anand Swaminathan** は次のように述べています。「企業は世界的にアプリケーションのデジタル化を進めており、事業の回復力も非常に重視しています。ガートナー社のマジック・クアドラント・レポートでのリーダー認定は、弊社がお客様の競争力と創造的破壊力を高める道に絶えず力を注いできたことの証しです。こうした評価は弊社の地位を高めると同時に、世界中の通信サービスプロバイダに最高クラスの IT クラウドサービスを提供するというコミットメントの再確認にもなります。オープンネットワークなどの新規分野の出現や AI や 5G の急速な成熟を背景に、将来が楽しみであるとともに、お客様やパートナーのエコシステムとの連携をより一層強化して参ります。」

**免責事項:** Gartner, Magic Quadrant for IT Services for Communications Service Providers, Worldwide, Jouni Forsman, Amresh Nandan, 15 September 2021.

ガートナーのリサーチの発行物は、そこに掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の格付けまたはその他の認定を受けたベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナーのリサーチおよび助言組織の見解から成るものであり、事実を宣言したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定の目的への適合性を含め、一切の保証の責任を負いません。

Gartner および Gartner Magic Quadrant は、Gartner Inc. または関連会社の米国およびその他の国の登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。無断複写・転載を禁じます。

## インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧ください。

## セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、



国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020年会計年度（2021年3月31日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

#### お問い合わせ先

マーケティング担当 安藤 [mktg\\_jp@infosys.com](mailto:mktg_jp@infosys.com)